

一般質問発言通告書

発言順位 8 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 2年 9月 8日

三島市議会議員 大房 正治 様

三島市議会議員 20 番 古長谷 稔



| | |
|--------|---|
| 質問事項 1 | GIGAスクール構想で三島市が目指す教育について |
| 具体的内容 | 4月7日文科科学大臣が、新型コロナの緊急事態宣言を受け、GIGAスクール構想の早期実現の積極的推進を表明した。これを踏まえ、当初5年計画とされていた1人1台端末の導入前倒しの補正予算が、去る7月29日臨時議会で承認された。しかしながら、この導入案は6月定例会までに示されていた方針とは異なり、全機にLTE機能をつけて家庭での通信環境を保障する踏み込んだものだった。「誰一人取り残すことなく、児童生徒の学びの保障の実現を目指す」との方針のもと、GIGAスクール構想に臨む三島市としての並々ならぬ決意を感じる一方で、便利な機器も便利な機能も「教育現場が実際に使いこなせるのか」という不安も感じる。言うまでもなく、教育ほど大切なものはない。三島市として、今回の一連のICT機器整備により、今後どのように学びの環境を進化させ、どのような教育効果を上げていく考えかを伺う。 |
| | 1. 教育効果向上に向けたICT教育支援員等の地元企業との連携の必要性 |
| | 2. 事業全体を俯瞰する役割のポジションを内外に置く必要性 |
| | 3. 現場での教員の端末利活用推進によって教育効果が向上する仕組み |
| | 4. 端末の固有化・共用化について（一人一台端末か、一人一台分の端末か） |
| | 5. データ管理はどのようにクラウド化するのか、又はしないのか |
| | 6. 5年後の出口戦略、及び卒業入学する児童生徒分の端末に必要となる対応 |
| | 7. 今後のパソコン教室や教員が使用しているPCの位置づけ |
| | 8. 三島市のイメージ向上戦略として、GIGAスクール構想に取り組む「決意」を市長に伺う |
| 質問事項 2 | ごみ処理施設広域化に向けた取り組みについて |
| 具体的内容 | 三島市では第4次三島市総合計画後期基本計画の循環型社会の形成（ごみリサイクル）において広域的な取り組みの推進として、ごみ処理広域化の方向性について調査・研究を進めることとしている。また、第2次三島市環境基本計画後期基本計画でも、ごみ処理広域化の方向性について調査・研究を進めることとしている。新たな一般廃棄物最終処分場の整備と、将来を見据えた近隣自治体との一般廃棄物処理施設の広域化を検討する目的で設立した「ごみ処理施設整備推進室」も、今年で3年目となる。この間の調査・研究の進捗を踏まえ伺う。 |
| | 1. 県を含めた広域連携可能性協議の進捗と、今後の展望について |
| | 2. 浄化センターや衛生プラントの廃棄物を、新たな一般廃棄物処理施設で、焼却処理できる可能性とそのメリットについて |